

連携そして共生へ YEG 新たなる出発!!

平成9年度ブロック大会 PRメッセージ

直接交流
直接実感

「ゆめの音」「ゆめの色」「ゆめの街」夢から実現へ出発!! 『無限の創造/最大の行動力/YEG新たなる挑戦!』



私達が作ってきたもの(1)フルカワミュージックフエスティバルロックオーケストラ「夢の楽団」(2)夢ふるかわポスターコンクール(3)ずんだラーメン。

この3本柱を中心に、街づくり、街おこし、また事業を通して団体の絆を感える素晴らしいと人との出会い、新しい自分の発見。これが、私達が作ってきたもの。古川YEGの9年の歩みです。

そして、今年10周年を迎えると共に、東北ブロック大会という当青年部にとって最大の活動の機会を得ることになりました。過去の開催地を見と、式典会場、分科会会場、懇親会会場等々、充実した条件の整った大会の多い中、古川市は、いろいろな面で一歩も二歩

古川商工会議所青年部
宮城県古川市東町五四六
TEL0229-24-0055 FAX0229-24-2820

東北ブロック 古川大会



も遅れているというのが現状です。しかし、こうした条件下での開催は、いろいろな意味を持っていると思います。

私達の10年の活動を通して、私達の古川市をもっともっと住み良い、楽しい街にするために、この大会を成功させたいと考えます。また、折角おいで下さる各地YEGメンバーにも有意義な時間を過ごしていただきたいと思ひます。

東北大会は、私達が経験したことのない、とても大きな未知のイベントですが、今まで実施してきた委員会活動の延長であることを忘れず、飾らず古川市らしさを全面に出していきたいと思ひます。

私達が作った、オリジナルの東北ブロック大会を早く皆さんに見てもらいたい。そんな気持ちで持っているような企画を検討しながら10年間の集大成であると共に新しい古川YEGの出発の機会となるよう、会員一同努力して参る所存でありますので、皆様のご来古を心からお待ちしております。問い合わせ先

新発田商工会議所青年部
TEL043-85-4111 FAX043-85-4199

北海道ブロック 登別大会

全国のトップを切つて、9月4・5日に北海道ブロック大会を、湯の街 登別で開催いたします。式典ではおこそかに、懇親会では鬼、熊、罫鹿と入り乱れての壮絶なバトルをお迎えいたします。5日の分科会では、温泉を使つての健康入浴法などという一風変わった分科会など、3分科会を予定しております。

湯の街 登別で、裸のつきあひからの交流、交流から連携、連携から共生へと大いに、YEG連携を深めてください。

登別YEGは今年で25周年になります。YEGメンバー 街づくり、街おこしにさらなる努力をしている中で、北海道ブロック大会を通して、全道 全国のYEGメンバーとの交流、情報交換が出来る事に喜びと充実を感じています。国際観光レクリエーション都市 登別は温泉、地獄谷、罫鹿、鬼、熊、時代村マリナーパーク、ニクス、天象園、クマ牧場...で全道 全国のYEGメンバーをお迎えいたします。問い合わせ先

新発田商工会議所青年部
登別市中央町五六一
TEL043-85-4111 FAX043-85-4199

彩の国 歴史に学ぼう青淵の郷で!



「彩の国 歴史に学ぼう青淵の郷で」これは、平成9年度関東ブロック大会深谷大会の開催地テーマです。当深谷は、大村会長を輩出している埼玉県の北部に位置し、人口10万の大都市です。

江戸時代は、宿場町あるいは、利根川航路の物流基地としての河川港として栄え、現在は商業・工業・農業にも発展し、バランスのとれた街となっています。

そんな街で、第17回商工会議所青年部関東ブロック大会深谷大会が開催されます。深谷YEGメンバー232名は若さで情熱と英知を出し合い、一丸となって大会準備に邁進しています。

大会は、テーマにある様に、「郷土の偉人 渋沢栄一」を中心に据え、明治維新の偉大な経済の先覚者渋沢翁から何を学ばなければならぬかと考えています。明治維新イコール平成維新イコールYEG 21世紀へ新たな出発。さて、内容は1部式典、2部フアッシュンジョー、3部分科会、4部大懇親会となっております。「YEGの皆様に楽しみなから学んでもらう」との考えから基調講演の代わりにフアッシュンジョーを企画しました。深谷以外のYEGの皆さんの協力も得て、盛大に行いたいと考えています。分科会は、4分科会(渋沢記念館等)、大懇親会も一つの会場で行います。是非とも深谷に来て、直接交流をし、直接実感して戴きたいと思ひます。深谷YEG一同心よりお待ちしております。問い合わせ先

深谷商工会議所青年部
埼玉県深谷市仲町二〇一
TEL0485-71-2145 FAX0485-71-8222

関東ブロック 深谷大会



名所があり、市内外から訪れる人の目を惹きつけています。また10万の城下町として、幕末には吉田松陰が訪れるの繁栄ぶりを記録して、幕末にはそして今年で50周年、商工会議所に創立50年を迎えます。さらに、来年には初代藩主溝口秀勝侯が秀吉の命により移り住んでから四百年を迎えます。その記念の年に北陸信越ブロック大会を開催でき、YEG会員の皆様をお招きできる事は誠に喜ばしいかぎりです。

YEGの活動としては10回目を迎えた、春秋のフリーマーケット。市制50周年、城下町四百年を記念した清酒「あやめ小町」の酒造り。そして、夏の新発田まつりにおける女白犬狗みこし。これは山形市での全国大会における沼田YEGとの交流から生まれたもので、沼田の天狗みこしを新発田市に呼んだのが始まりです。

9月12日のブロック大会では分科会を中心に、触れ合い温もりの通い合う形式を取りたいと思ひますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。問い合わせ先

新発田商工会議所青年部
新潟県新発田市中央町四〇一〇
TEL0254-22-2757 FAX0254-23-5885

北陸信越ブロック 新発田大会

よってこって華彩・青年部パワー炸裂!



「よってこって華彩・青年部パワー炸裂!」
 平成9年(1997年)第15回近畿ブロック大会の開催地テーマは、よってこって加西市へ、そして加西市に集約したYEGの力を炸裂させ、各単会へ各個人へという我々の思いを表しています。

当所青年部は、昭和46年に商工会青年部として設立され、親会が昭和62年に商工会議所に移行したのに伴い、商工会議所青年部として10周年を迎えました。

その間、何度か組織改革を行いながら、商工会の仲間からYEGの仲間へと交流の輪が広がっていき、過疎化に悩む郡部から県庁所在地の大都市まで、さまざまな人達と交流がありました。

各単会内での青年部員の青年部に対する意識の差違はもちろぬ、各単会における存在基盤の違いから生じる活動目的の差異は、今後どのように我々が取り組んでいけばよいかをこの大会で何らかのヒントが得られればと思っております。

加西市は、兵庫の中央部に位置します。そして、兵庫県は日本海、瀬戸内海、太平洋に面し、雪国風情、山岳気風、港街異国情緒、南国気性とさまざまな文化・風土を織りなしています。

どうか、9月6日は「よってこって加西市へ」皆様方のお越しをお待ちしております。

問い合わせ先
 (インターネットアクセスナンバー)
 http://www.sannet.ne.jp/kasuyeg/
 加西商工会議所青年部
 兵庫県加西市北条町栗田1-1-15
 TEL0790-42-0416 FAX0790-43-1123

近畿ブロック 加西大会

バンザイ!岡山で会えてよかった!



今年度、第15回中国ブロック大会は岡山市に於て10月17日(金)・18日(土)開催されます。今年岡山では、市を挙げて岡山城築城400年の大イベントを開催しています。また岡山自動車道開通に伴い、中国横断自動車道中四さん自動車道の全通、倉敷チボリ公園のオープン(7/18)などにより岡山は、今大きく胎動しています。このような中で、今大会は、にぎわいと喜びの中で直接交流を結び、さらに企業と地域社会を担う青年経済人としての自覚、商工会議所青年部の役割を実感する場とともに、大いに楽しんでいただける大会を目指して

中国ブロック 岡山大会

います。YEGメンバーの皆様、岡山の地へお越しください。この事を岡山YEGのメンバー心より楽しみにお待ちしております。

(スローガン)
 「直接交流・直接実感」連携そして共生へ
 YEG新たな出発

「開催地テーマ」
 「バンザイ!岡山で会えてよかった!」

①岡山自体のまさにエポックメイキングな年に、今大会の開催主管ができることを誇りに思い、②さらに目的を達成するために、「連携」「共生」「出発」へのエールであり、③企業と地域社会を担う青年経済人としてのさらなる活躍へのエールでもある心より発せられる合言葉、「バンザイ!」を使用し、「交流」や「実感」の原点は「直接人と人とのふれ合い」という目的の成功をも祈念した言葉を結びました。

問い合わせ先
 岡山商工会議所青年部
 岡山県岡山市厚生町三二一五
 TEL086-232-2255 FAX086-225-3561
 E-mail okyeg @ optic.or.jp
 http://www.optic.or.jp/okyeg/

来て・見て・感じて久居の湯と街



全国のYEGの皆さんこんにちは。今年度、10月5日(日)に東海ブロック久居大会を主催開催させて頂く久居YEGです。

久居市は、三重県の真ん中に位置し東西に細長い街です。特に橿原温泉は、日本三名泉として、清少納言が枕草子に歌った、ななくりの湯のこと

東海ブロック 久居大会

で、平安期には「神湯」と呼ばれ、江戸時代には湯治場として栄え、又、久居ひさしと言う語源は、初代当主、藤堂高直が、永久に鎮居すると言う事で名づけられた由緒ある地名です。歴史的にも古い温泉に、入っていただきその場所での分科会、そして、大会会場での分科会を予定しています。ぜひ皆さん、この大会に多数の参加していただき今回のスローガンである、「来て・見て・感じて久居の湯と街」を実感してください。

この地に集まる各単会YEGメンバーの皆さんに満足出来るよう色々な趣向をこらした大会、分科会を我々久居YEGメンバー一人一人が考案努力しています。どうか、久居の良さを判っていただき、本大会を通じて多くのYEGメンバーの出会いと共生が図られる事を大いに期待し、そして、陸上自衛隊で開催する大懇親会を楽しみ、各単会YEGメンバーの皆さんと語り合おうと思えます。

どうか、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

問い合わせ先
 久居商工会議所青年部
 三重県久居市本町一三四七-1
 TEL0592-55-2343 FAX0592-56-3663

「独立自尊」自由奔放、福沢精神今ここに



▲中津城

全国YEGメンバーの皆様こんにちは。大分県・中津YEGは来たる9月20日(土)、第17回商工会議所青年部九州ブロック大会を主催開催致します。

中津市は、奥平氏10万石の城下町。商都としての輝かしい伝統が活力ある町並みに脈々と受け継がれています。1万円の顔、福沢諭吉先生の旧居並びに記念館を訪ねれば、あらためてその業績の偉大さに驚かされます。

「独立自尊、自由奔放、福沢精神 今ここに。」これは、今大会のテーマです。平成8年度「人が接点、地域が原点」今、披けようYEG連携!」商會連スローガン時に、今大会の準備をスタートし、平成9年度大村会長の「直接交流・直接実感」連携そして共生へ、YEG新たな出発」というスローガンに少しでも近づけるよう努力を致しております。

中津YEGは、今年10周年の節目を迎える単会であり、この大会を機に更なる飛躍をめざして、又「商工会議所活動の一翼を担う」という綱領の一部を肝に命じて、実り多い大会とすべく会員は頑張っております。

歴史と文化の香り豊かな我が中津へ、お越し下さいませ。お待ちしております。

問い合わせ先
 中津商工会議所青年部
 大分県中津市殿町一三八三-1
 TEL0979-22-2250 FAX0979-22-1750

九州ブロック 中津大会

YEGカーニバル紙ing伊予三島!



本年9月26日(金)27日(土)、愛媛県の伊予三島市におきまして四国ブロック大会を開催致します。当伊予三島市は、人口4万弱の小さな市ですが、市街地の北には風光明媚な瀬戸内海をへだてて遠く中国山地の山々が青くかすみ、背後には有名なやまじ風が吹きおろす険しい四国山地の山並が連なり、豊かな自然にあふれています。

また、開催地テーマにもありますように、古くから製紙業・紙加工業が盛んで、おんな生產品として新聞紙・印刷用紙・ティッシュペーパー・トイレットペーパー・ノート・封筒などいわゆる「お札から紙おむつまで」製品が多種にわたっていることは全国にも例がなく、全国的な紙の生産地として世界に雄飛しています。200年以上の伝統を有する紙すき技術は、現在でも水引細工をはじめとするさまざまな特産品の中に生かされています。

◎開催日時 平成9年9月26日(金)〜27日(土)
 ◎式典 27日(土) 10時30分〜12時
 ◎懇親会 26日(金) 18時〜20時30分
 ◎分科会 27日(土) 12時〜16時

問い合わせ先
 伊予三島商工会議所青年部
 愛媛県伊予三島市宮川四六五五
 TEL0896-23-2535 FAX0896-24-4024

四国ブロック 伊予三島大会

来てみたい/阿波の国'97徳島発 今始まる 世界連携新時代

■実行委員長

●東條 重之
51年11月13日生
●蠍座・O型
●関西学院大学法学部卒業
●趣味・ゴルフ
●想い出の残る大会を目指します

■副実行委員長

●松村 啓
48年9月11日生
●乙女座・B型
●京都産業大学経済学部卒業
●和菓子製造販売
●趣味・旅行・パチンコ・酒
●楽しい全国大会に

■大会会長

●北島 重利
49年6月5日生
●双子座・A型
●甲南大学経済学部卒業
●総合建設業
●趣味・海外旅行
●楽しい大会にしたい

■大会副会長

●福島 正
50年12月17日生
●射手座・A型
●明治大学経済学部卒業
●各種情報通信機器販売
●趣味・旅行
●おもてなしには絶対の自信あり



スタッフの熱き思い!!

●近藤 寛
変革時代の情報社会の中で自然に恵まれたのんきな徳島で、ホット一息楽しんでヒューマン・ネットワークを築いて欲しい

●柴田 政美
もう一度徳島に行きたいと思われよう大会にしたい

●森浦 孝充
快適なナイトライフを用意します

●鈴木 憲
徳島で友人をたくさん作ってください

●山松 高志
徳島にきてよかったと思える大会にしたい

●松内 雅博
大会が Awa Tokushima Dream's 基となるように

●西野賢太郎
徳島及び阿南の地が皆様方の思い出に残るような大会を目指します

●佐藤 允男
心をこめて最高のお接待を

●野田 重臣
夜のサービス案内に頑張ります

●元木 覚
全国トップクラスの住みよい徳島で皆さんが満足していただける大会を目指しています。新しい出会いを期待しています

●今山 秀人
全国の皆様との交流を楽しみにしています

●濱田 直昭
元気・健康で

スタッフの熱き思い!!

●今津 光雄
鳴門 YEG 会員一同、全国の皆様のご参加を心よりお待ちしております。渦潮のまち鳴門へも是非お越しください

●徳長 正敏
心なごむ大会を開催したい

●川真田博敏
徳島を思い出してください

●脇 幹人
青い国・四国へ是非お越しください

●久米 良久
もてなしの徳島(幸福実践)

●堺 克由
こんなら損するですよ

●喜多 修司
YEG の歴史に足跡を残そう

●西野賢太郎
徳島及び阿南の地が皆様方の思い出に残るような大会を目指します

●佐藤 允男
心をこめて最高のお接待を

●野田 重臣
夜のサービス案内に頑張ります

●元木 覚
全国トップクラスの住みよい徳島で皆さんが満足していただける大会を目指しています。新しい出会いを期待しています

●今山 秀人
全国の皆様との交流を楽しみにしています

●濱田 直昭
元気・健康で

徳島大会開催要綱

- 目的
本大会は、商工会議所活動の一翼を担う全国各地の青年経済人が、交流と研鑽を通じて次代への先導者としての意識高揚を図る。併せて、新しい地域文化の創造と豊かで住みよい地域づくりに向けた役割と責務について認識を深める。以て、地域経済社会の将来にわたる健全な成長・発展に寄与する事を目的として開催する。
- スローガン
『直接交流・直接実感』連携そして共生へ YEG 新たな出発
- 開催地
「97徳島発 今始まる世界連携新時代」
- 主催
全国商工会議所青年部連合会、日本商工会議所
- 主幹
徳島県商工会議所青年部連合会、徳島市
- 後援
徳島県商工会議所連合会、徳島県、徳島市、徳島県観光交流センター(愛称 アスティとくしま) 電話 0886-24-5111
- 開催日時
1997年11月21日(金) 9:30~20:00
22日(土) 9:00~17:00
- 大会会場
徳島県立産業観光交流センター(愛称 アスティとくしま) 電話 0886-24-5111
徳島市山城町東浜橋1 電話 0886-24-5111
徳島プリンスホテル 電話 0886-24-1111
新町川水際公園
- 参加者
商工会議所青年部会員並びに商工会議所役員
商工会議所青年部OB会員
- 登録料
1人 15,000円(懇親会費を含む)

| コース名・時間 | 企業名・訪問先 | みどころ |
|---------------------|-----------------------------|---|
| 朝ジャストシステム 定員200名 | 我が社 | 日本語ワープロソフト「一太郎」でおなじみのソフトウェアメーカー。トップ企業で、今話題のインターネット/イントラネット環境の構築を推進する、企業向けシステム製品群をご紹介します。すぐれた日本語処理、多彩なグループワーキング等、最先端のソフトウェアテクノロジーをご体感下さい。 |
| 朝大塚製薬工場 定員280名 | 大塚製薬 | コロナミンC、ボカリスエット等で有名な大塚製薬(株)やチオピタの大塚製薬工場などの企業に代表される大塚グループ発祥企業です。大塚製薬としておなじみのオロナミンH軟膏のほか、輸液のトッパーメーカーとして「世界の大家」として、世界中から高い評価を受けています。 |
| 日亜化学工業(株) 定員50名 | 日亜化学工業 | ブラウン管に使用される蛍光体で国内の5割、世界の4分の1のシェアを占めているほか、世界で初めて青色LED(発光ダイオード)の開発に成功したり、世界で最も短い半導体レーザーを開発するなど世界的に注目を集めている企業です。世界最先端の技術をのぞいてみませんか。 |
| 朝河野メクロン 定員150名 | 河野メクロン | シンビジウム(洋ランの一種)の育種とハイテクによる種苗生産で世界の頂点に立っている企業です。有名「あんみつ」が、「プリンセス」も、同社が世に送り出した品種です。今からの時期が一番の見頃です。シンビジウムの真の美しさ、素晴らしい体験をしませんか。 |
| 阿波文化探訪(13:30~17:30) | ドイツ館 四国八十八カ所一番札所 霊山寺 定員150名 | 鳴門のドイツ館は、ベートーベンの交響曲第9番を日本で初めて全曲演奏したことで有名なところ。また、霊山寺は、弘法大師空海の開設した四国八十八カ所の一番札所「発願の寺(満願成就を祈願し巡拝を始める寺)」です。この参拝・講話により皆様の満願成就はまがいがいありません。 講師：霊山寺住職 芳村超全 氏 |

- 1997年11月20日(木)
親睦ゴルフコンペ 8:00~16:00 サンビアルゴルフクラブ
前泊者懇親会 18:00~20:00 徳島プリンスホテル
 - 1997年11月22日(土)
阿波フェスティバル 14:00~16:00 新町川水際公園
阿波踊りとリオのカーニバル競演
 - エクスカージョン 13:00~
◎県南若手経営者との交流と観光イベント
◎大歩危・小歩危から高知へ
◎鳴門・明石大橋を望んで神戸市へ
- 情報は、逐次アドレス
<http://www.nmt.co.jp/~tokuyeg/>
に掲載いたしますので是非アクセスしてください。

平成11年度全国大会「新潟大会」に向けて

新潟県商工会議所青年部連合会 委員長 中島 善夫

私たちが新潟県連は、4年前に全国大会の誘致を協議しました。これまでもの大都市中心の全国大会ではなく、人口3万人から7万人の小都市青年部が協力しあって、全国大会が開催できないものか。果しての役員会で幾度となく議論を交わし、全単会一致をみなければ誘致はしないという前提で進みました。当時の県連は、設立30年を越える単会から、設立されたばかりの単会までの集まりで、最終的には一本化できず、時期尚早と云う事で、立候補を断念しました。その後、一度ついた藩を枯れさせては、全国大会と中央研修会の誘致について3年間検討を重ねてきました。

昨年、平成11年度の全国大会候補地が中地区となり、再度立候補のチャンスが訪れました。8年度の新潟県連の総会に於いて「平成11年度の全国大会招致」を全単会一致で決議し、立候補する事になりました。

折しも、隣の富山県連も2度目の全国大会招致を決め、この年間北陸信越ブロック内で協議を重ね、最終的には新潟県連に決定させて戴きました。この間、しのぎを削る事によって、素晴らしい勉強をさせて戴きました。富山県連は、私共県連としては先駆者にあたり、模範とすべき県連です。その県連と競い合う事で、私共の未熟さを知り、更に磨かなければと思う次第でした。

商青連から内定を戴き、今年度から県連内に、誘致委員会から一歩前進した全国大会準備委員会が充足しました。各単会から2名の委員が出向し、着々と準備が進んでおります。

平成11年度の大会会場となる新潟市は、日本海側最大の港湾都市として、全国各地からのアクセスも申し分なく、山の幸、海の幸、人の幸にも溢れ、全国の皆様をお迎えし、YEGの更なる交流を深め、連携を築くには最適な地と確信します。そのために、私共県連は小さなながらも全単会一丸となって、新潟の心を感ぜるおもてなしをする所存です。

平成11年に、私共県連は10年目をむかえます。しかし、未だ小都市青年部7単会の集まりです。その私共が、全国大会を開催する事で、新たな気運が生まれる事によって、連携をする事によって、大きな事業に挑戦できる。全国YEGの皆さん、是非平成11年度は新潟へお越し下さい。新潟県連会一同心からお待ちしております。

平成10年度全国大会「青森大会」に向けて

「思いとビジョン」後藤 薫

私たちが青森商工会議所青年部の取り組みは、ウォータフロントエリアにおけるイベント「青森海の祭典」の創出。全市のつながりをみせる「版圖の街・あおもり」運動。最大の縄文遺跡「三内丸山」を活用すべく設立された「三内丸山応援隊」への参画等、地域の活性化生活や文化醸成に少なからず寄与しているものと周囲に評価されるに至っています。

このような青年部活動の延長線上で、私たちは、①りんご落果被害のときの全国YEGの仲間と連携し、感謝の気持ちを伝えたい、②「海の日」に結実した「青森海の祭典」、版圖の街・あおもり運動、「三内丸山応援隊」の組織化等々、市民を結びつける接点となり、きた経験を活かし、さらに地域活性化の核になる決意を全国YEGの仲間と伝えたい、③全国大会を、強力なYEGを作るため原点に戻って互いに切磋琢磨する重要な機会をとらえたい、このことを全国YEGの仲間と呼びかけたい、このような「思い」で全国大会を開催したいと思っています。

また、私たちは、①YEGが地域と地域・地域内外の「結び手」であることと実感し、全国YEGの仲間とのネットワークを構築したい、②先に記した運動・イベントが市民の地域への愛情を表現する活動であることと認識し、市民と地域・市民と行政の「結び手」としての役割を果たしたい、③地域政策を自ら発案し実行に移すYEGを目指し、地域政策を現実の経営の形に結びつけていく地域政策と実行の「結び手」でありたい、④会議所の組織改革の核としての「結び手」を自覚し、会議所の組織と会員の「結び手」に、またりんご落果被害の際の活動で学んだ第一次産業とのつながりの深さを再認識し、産業会議所のつながりを目指して、商工業と地域産業の「結び手」となりたい。

これら「信頼される(結び手)」を目指す将来「ビジョン」を持って全国大会を開催したいと思っております。

平成10年、青森県商工会議所青年部連合会は設立10周年を迎えます。また、青森市は市制施行百年、青森商工会議所は創立百周年を迎える節目の年となります。その中で、皆さんをお迎えし、相互研鑽をなし、更なる交流を深めること、青森県民・青森市民にとっても新たなステップを踏み出すことになると考えています。

平成10年11月5日(7日)には、ねぶた祭りにもられる津軽人のもつエネルギーと、縄文文化の流れをも受け継いで築いてきた、東北青森のすばらしさをこの「青森の地」で全国の仲間には是非とも実感してもらいたいと思っております。



直接話そう! 直接交流しよう! 姉妹提携



平成2年3月に行った浜田・黒部YEGの姉妹締結は、この「翔生」がご縁でした。当時、浜田YEGでは、夏のイベントとして、大規模な野外コンサートを開催してまいりました。(昭和61年度より8回開催。現在は休止中。)

そんな折、同じ日本海側の同規模の都市で、やはり1万人規模の野外コンサートを定期的に開催しておられる黒部YEGの事を、「翔生」の活動報告で拝見し、お話しがの始まりです。折り返し、是非とも姉妹締結をとの話を黒部サイドより頂き、また当時の黒部YEG川端会長の奥様が、山陰のご出身ということもあり、さっそく川端会長に浜田までお越し頂き、年度内には黒部市において姉妹調印式に至りました。その後は互いの市へ一度ずつ訪問を行いました。遠路という事もあり、今では全国大会の折にお会いし、情報交換を行うのが現状です。

共同の事業等は行っておりませんが、立地も含め、同様の境遇にある青年部として、旧知の友人の様に、その存在だけで互いの励みとなる姉妹青年部関係として、今後とも、肩の凝らないお付合いを続けていきたいと思っております。

また、現在浜田市では、平成4年の中国横断道開通、平成5年の県立国際短期大学開学、平成8年の世界子ども美術館の開館、4年制大学の設置、浜田港5万t岸壁等と目まぐるしくハードの整備が進められております。青年部としてはこれらのハードを最大限に活かすべく、地域のソフト集団たる自覚をもって活動を展開しております。

平成11年には、中国ブロック大会誘致にも名乗りを上げております。変わりつつある浜田市に商青連の皆様、是非一度きてみんちゃい。



- ①姉妹提携時期
1994年12月21日(平成6年)
- ②いきさつと目的
魚津YEGは、平成6年度に設立20周年記念事業の一環として姉妹提携事業を行うことになりました。姉妹提携YEGとして関東首都圏で港を持ち、異国情緒をもつ横須賀YEGに打診したところ快く受けていただきました。両YEGでは人と情報の交流を行うことで両地域の更なる発展を目的として交流を進めていきたいと思います。
- ③メリット
YEGだけでなく親商工会議所・婦人会との友好の輪が広がりました。
- ④姉妹事業の現状
毎年双方のYEGへ出向いて祭りなどに参加している。
- ⑤将来展望
現状を維持しながら、情報交換、YEG勉強会、個々の事業展開などに役立てたい。
- ⑥新規提携の計画
希望があれば、前向きに検討します。



ホタルイカ



手作りダンボール舟レース



スーパードミノ

我が大田商工会議所青年部は、来年度で創立20周年を迎えようとしております。洲本商工会議所青年部と姉妹締結した年が10周年の翌年であったことを、今思ひおこしております。

昭和63年、10周年を迎えた年に渉外委員会が、「そろそろ対外的に交流を行い、視野を広めていこう」との考えのもとに、姉妹締結の調査事業を開始したのであります。歴史、文化、産業の共通点、また人口の割合はどうかなどを検討した結果、兵庫県洲本市を11月19日に視察しました。瓦の産地というのがお互いの産業の共通点でありまして、その時に淡路瓦の工場などを見せていただきました。

平成元年、私が渉外委員会の理事になりました。前年に引き続き洲本さんと交流を進めることとなり、お互いに訪問し親睦を深め、気軽に話を交わす間柄になりました。そして8月3日、洲本市の「海月館」にて姉妹締結調印式が挙行政され、洲本市長、洲本商工会議所会頭等ご来賓の方々とも親しく話し合うことができ、市長からは洲本市のイベントへの積極的な参加を期待するとの要請がありました。

当面は、お互いのイベントに参加することにより友好の輪を広げ、良いところは吸収していこうということで姉妹関係が始まりました。それから今日に至るまで、友好青年部としてブロック大会、周年事業、地元の祭等への参加を続け、全国大会の時には昼食会を催したりしてきております。

締結をしてから、この8月で8年がこうとうしています。そろそろ、もう一歩踏み込んで、「共に学びあう」頃かなと考えているところでもあります。

“YEGの姉妹締結”は、まさに、出会いから交流そして連携という、YEG新時代に必要事業だと考えます。

沖繩YEGと大村YEGが姉妹締結を締結して、15年目に入ろうとしています。当時大村YEGは、第3回九州ブロック運営研究会が開催されることになっており、かねてより交流を深めていた沖繩YEGとの姉妹締結が、大会前に締結調印されました。当時は、全国479会議所中、青年部は194単会(40%)程にすぎませんでした。そうした意味からもこの姉妹締結は、全国のYEGから注目を浴びていました。この姉妹締結の目的は、友情と連帯を深め、お互いの経済や文化等の交流を図り、両地域の発展に寄与していくことでした。

今日までを振り返りますと、お互いの地域での物

産展を開催・紹介することを皮切りに、人と人との交流を深めてきました。そういった中で、沖繩YEGの仲間達との交流を通じ、今問題になっている基地の移転等、沖繩の方々から終戦以来苦しまれてきた歴史の背景が、我が身のように切実に感じられ、この問題が正しい方向で解決していくことを願っております。

平成9年度商青連のスローガンは“直接交流・直接実感”連携して共生へ、YEG新たな出発”であります。姉妹締結における交流は、まさにスローガンそのものではないでしょうか。

私たち大村YEGは、これからも諸先輩の方々が努力を重ねてきたこの姉妹締結を、これからも大事にして行き、且つお互いの友情と連携を深め、経済、文化等に繁栄させていきたいと思います。



樹木を植える

①提携時期 平成6年12月21日
②いきさつ それは前触れもなくやってきました。ある日一通の書類が事務局の元へ…そこには「友好姉妹提携」の6文字が…是非商工会議所青年部・婦人会と共に魚津と横須賀の友好姉妹提携を、とのことでした。

この中には海がある大都市の青年部との交流を深めたいとの主旨が書いてあり、これを読んだ役員は「横須賀が大都市？」と首をかしげてしまいましたが、そうこうしているうちに魚津の会長さんたちが横須賀にみえられ、まずはお見合い…横須賀が大都市であるという誤解を解かなければと話をし現状を説明した上でも是非よろしくとのことでしたので、こちらからも歓迎の意思を伝えました。

その後行われた魚津商工会議所青年部・婦人会の20周年記念式典に早速招待を受け、当



日友好姉妹提携調印式も執り行い、めでたくゴールイン…ではなくスタートしたのであります。魚津の皆さんはこちらが恐縮するくらいの気配りで歓迎してくれました。これからは未永いおつき合いでお互いの情報交換・また親交を深めていければと思います。

④現状 情報交換や文化交流といった面において、今後の青年部の発展に寄与する活動であると考えます。

⑤将来展望 21世紀に向けて、他都市との連携を高め、活力とにぎわいのある青年部の基盤作りを目指します。

♥姉妹YEG

- 高岡(富山)—— 関(岐阜)
- 氷見(富山)—— 大町(長野)
- 魚津(富山)—— 横須賀(神奈川)
- 黒部(富山)—— 浜田(島根)
- 水戸(茨城)—— 敦賀(福井)
- 洲本(兵庫)—— 大田(島根)
- 江戸川(東京)—— 鶴岡(山形)
- 長門(山口)—— 米子(鳥取)
- 別府(大分)—— 指宿(鹿児島)
- 大村(長崎)—— 沖繩(沖縄)
- 米沢(山形)—— 高鍋(宮崎)

誌面の都合上掲載できなかったYEGは次回に掲載させていただきます。

わが町水戸が誇る天狗党が最期を遂げた地、敦賀。

その敦賀YEGとの交流が始まったのは平成3年9月16日水戸YEGの創立15周年記念式典でのことでした。敦賀YEG会長はじめ多くの会員の参加をいただいて「青年部活動の活性化、自らの人間性と経営能力の向上、地域社会への貢献等に関して活動のレベルアップを図る」ことを目的に調印式を行ないました。

水戸と敦賀は距離的にかなり離れているにもかかわらず毎年恒例の全国大会において交流を図っており、YEGの事業や組織、地域社会についてお互いに忌憚のない意見交換を行なっています。

その一端として、平成4年の敦賀15周年記念大会や、昨年の水戸20周年記念大会などの記念事業ではお互い交流を深めています。

また、平成5年に行われた「敦賀まつり」にも参加させて頂き、水戸黄門、助さん、格さんに扮したメンバーが、

水戸の銘菓や納豆などの特産品を販売し、チャリティー募金を行ないました。おまつりにおいて姉妹都市の物産を市民の方にPRすることは非常に大事なことだと感じられました。

今ところ、今後の交流について特に計画はありませんが、日本海と太平洋、食べる物も違えば考え方も異なります。そのようなYEG同士が地域社会において特徴を活かした交流を深め、地域社会に貢献していくことは非常に有意義なことと考えます。

平成10年には水戸商工会議所青年部主催において関東ブロック大会が開催されますが、このような交流事業がきっと役に立つものと確信しております。



水戸物産コーナー 主催 水戸商工会議所青年部



姉妹提携調印式

第15回商工会議所青年部全国会長研修会



熱き友情、熱き実践 見せようわがYEGの団結を！

「来たれ掛川道場」

会長 河原崎 逸雄

平成九年度「直接交流・直接実感」連携して共生へYEG新たな出発」の商青連スローガンのもと、第15回商工会議所青年部全国会長研修会は静岡県掛川市商工会議所青年部主催のもと、静岡県商工会議所青年部連合会に副主管の協力を戴き、掛川市において開催していただきます。

静岡県には、日本一高い山富士山があります。富士山は日本を象徴する山であり、世界の人々が憧れる山でもあります。この富士山のように、静岡県は歴史や文化の遺産、そして東京・大阪という二大都市間を幹線交通網で結ぶ中間にある恵まれた県土の立地は、産業・経済・文化・芸術スポーツ、その他あらゆる分野で全国の中核地域として発展しております。日本列島のどまん中に位置する静岡県掛川市に、平成10年7月9日・10日、一人でも多くの青年部の皆様が集まり戴き、皆様が有意義な研修会ができるよう着々と準備を進めております。

掛川市は生涯学習の発祥の地であり、報徳の街でもあります。終戦後50年、経済成長のもとに発展し、物余り現象が起こり、物の豊かさに満足足り飽食・暴食の時代になり、物の豊かさがたゞ心の豊かさを忘れてきている現在、道徳・抑制・規制を毛嫌いする中で、気の緩みを締め直す一つの課題として、全国の単会のリーダーの皆様へ「生涯学習」を通じて経済哲学を学ぶ、をテーマに報徳精神を学び、自社経営に役立つ研修会を考えております。また、平成7年までは第13回中央研修会と呼んでおりましたが、平成8年から第14回全国会長研修会と名称変更を致しました。北海道岩見沢の引き継ぎ2年目であり、本年度は全国会長研修会、少し厳しさのある本当の研修会であるよう名称も「掛川道場」と名付けました。会長・会長予定者・事務局員等の皆様は各単会の先導者としての自らの立場を考え、それぞれ今後どのようにYEG活動を行っていくべきか、また、自社の発展と地域経済を担うリーダーとしての資質の向上意識の高揚を図っていくにはどうすればよいか話し合い、交流を深める研修会を行いたいと思います。

徳の心を忘れてきている現在、もう一度緩んだ道を締め直し、21世紀に向けて人の先導者となるようYEG新たな成長を考えようではありませんか。全国の青年部の皆様方に、掛川市にお越し頂き、厳しさもあるが、楽しさもある温かみのある会長研修会になりますよう掛川YEG「熱き友情 熱き実践 見せようわがYEGの団結を」をスローガンに一九となつて事業を進め、全単会が100%の出席で会長研修会にご出席戴けるためにも、主管青年部として掛川YEG全員、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

特別委員会 新たな出発！

委員長 八木 秀和

今年で3年目を迎える特別委員会が、去る5月12日さらなる「YEG連携」を推進するために東京でスタートをきりました。

商青連15年目にあたり「YEG連携」が現状を打破するための活動であり、人を接点に交流を深め、情報を交換し、相互補完する「直接交流・直接実感」により、私達の地域や企業の将来を創造して共生してゆく社会変革事業である事を全国に発信してゆく使命があります。3年目となる連携事業の推進と、新たに小委員会による同業種交流の研究と推進を本の大柱として活動します。

連携事業の推進は、全国のYEGにもっともっと連携事業のメリットを知ってもらい、各地で連携事業が活発に行なわれるよう、現全国YEGのネットワークを活用し商青連だからこその他地域の同業者と交流を計り情報を交換し現状把握から打開策を探り、業種毎の問題点を明らかにしてゆきます。

とりわけ本年度は、商青連との関わりを出向理事以外のルートでつくり、商青連活動の活性化につなげるために仕事との関連の中でアントレプレナーとして活動を行なう意味で全国各地のYEGメンバー33名に専門委員として集ま

つていただきました。地域連携・商業・製造業・建設不動産・情報サービスの5つの小委員会にわかれ活発な活動を展開していただきます。

特別委員会では、変革のスタートにたち今後への足掛かりとなるようYEGのさらなる「連携」を推進し「共生」へと導くために商青連として全国各単会へ発信してゆきます。



商青連特別委員会小委員会名簿

| 小委員会名 | 役職名 | ブロック名 | 氏名 | 単会名 |
|---------------|-------|-------|-----------|-----|
| 地域連携 | 担当副会長 | 東 | 北 鈴木 夫 | 山 岡 |
| | 委員長 | 近 | 畿 木 和 秀 | 関 廣 |
| | 委員 | 東 | 北 藤 行 正 | 田 宮 |
| | 小委員長 | 海 | 道 鈴木 春 光 | 羽 野 |
| 商 業 | 専門委員 | 東 | 東 木 井 下 | 宮 羽 |
| | | 東 | 北 佐 藤 正 光 | 治 恵 |
| | | 東 | 海 山 田 寛 | 高 知 |
| | | 近 | 畿 栗 田 寛 | 野 戸 |
| 製 造 業 | 専門委員 | 近 | 畿 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 近 | 畿 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 北 | 信 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 近 | 近 栗 田 寛 | 高 知 |
| 建 設 ・ 不 動 産 | 専門委員 | 中 | 四 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 四 | 東 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 東 | 北 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 東 | 北 栗 田 寛 | 高 知 |
| 情 報 ・ サ ー ビ ス | 専門委員 | 東 | 北 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 東 | 北 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 東 | 北 栗 田 寛 | 高 知 |
| | | 東 | 北 栗 田 寛 | 高 知 |

しんきろうの不思議？

しんきろうのはなし
4月から6月にかけての2、3日晴天が続き、フェーン現象気味の日、穏やかな海面に北の微風が吹くと、出現します。対岸の富山新港や富山市の街並が、のび上がった、船が逆さになったり、まさに天下の奇観が現れます。
また、11月から2月にかけて寒い日には「冬のしんきろう」がよく出ます。春のしんきろうは上方に像が出るのに対し冬のしんきろうは下方に像が出ます。



しんきろうは古来より有名で1564年に上杉謙信が魚津津で見たという記録もあり、時にはハマグリや吐く息と言われたり「狐の森」「喜見城」などと言われたこともあります。
しんきろう予報は MICへ (TEL)0765-22-3190 (インターネット) <http://www.wni.co.jp/mic/>
広報委員長(富山県津YEG) 浜多 等志

「人の交流」が「地域連携」のはしめり

33万都市、われらの郡山市の発展は、「安積開拓」が始まった。明治6年から16年にかけて、二本松藩に始まり、久留米、棚倉、岡山、鳥取、土佐、会津、松山、米沢、全国9藩の旧士族が続々と、この安積の地に入植した。これが縁で、久留米市と姉妹都市になる。

古代の歌として、万葉集に「安積山影ささ見ゆる山の井の浅き心を我が思わなく」と詠まれ、これを古今和歌集の「前文で紀貫之が「歌のちはは」と記し、また、歌詠みは「安積山」を訪ねくる。江戸時代には、芭蕉も見え、また、都落ちする「うねめ」の伝説で、奈良市と姉妹都市である。古代から、郡山は、北国のローマあふれるフロンティアであった。

昨年、岡山から、元家老の子孫がやってきた。われわれ郡山商工会議所青年部が、歴史の塵に埋もれつつある入植の地に建立した、9藩10基の内岡山の顕彰碑を見るためにである。その子孫は、同業会の文集で自分の祖先の名が刻まれた石碑ができたことを知った。郡山には、今は、岡山藩の入植者の子孫はいないとされる。そんな地で、自分の先祖の成し遂げた業績を称える碑があることに、その老人は動かされた。老人は嬉しかったに違いない。でも、それ以上にわれわれが嬉しかった。

こんな出会いがしてみたい。郡山商工会議所青年部は、安積開拓100年の今年、こんな思いで、全国のYEGの仲間との連携を深めるつもりだ。
郡山YEG地域開発委員会 関根 信